

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		雨水流出抑制対策設置工事				整理番号	570		枝番号	
担当部課名		都市整備部 杉並土木事務所		コード	222705	連絡先電話番号	3315-4178		昨年度整理番号	559
係名		設計係			上位施策名				No	
予算事業名		道路の路面改良		コード	58150	水害対策の推進				10
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		3年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区雨水流出抑制対策要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		道路の路面改良工事を施工する道路・水害を受ける地域		(2)					
	活動指標名(式)		(1) 累積浸透桧設置箇所数		(3)					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		道路の路面改良工事の際に、雨水を地下に浸透させる施設である浸透桧・浸透地下埋管を設置する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		道路の路面改良工事の際に、雨水を地下に浸透させる施設である浸透桧・浸透地下埋管を設置する。		雨水を地下に浸透させることにより、河川への流入量を抑制する。						
活動指標名(式)		(1) 累積浸透桧設置箇所数		成果指標名(式) ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
活動指標名(式)		(2) 累積浸透地下埋管設置延長数		(1) 時間あたりの累積浸透量						
活動指標名(式)				(2) 時間あたりの累積浸透量						
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標(1)	① 箇所	1,810	1,930	2,060	2,060	2,190	2,990	68.9	
	活動指標(2)	② m	1,019	1,103	1,199	1,199	1,299	2,099	57.1	
	成果指標(1)	③ m ³ /h	1,267	1,351	1,442	1,442	1,533	2,093	68.9	
	成果指標(2)	④ m ³ /h	673	728	791	791	857	1,385	57.1	
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	11,543	13,064	20,040	12,644	20,040	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 浸透量 浸透桧:0.7m ³ /h/箇所 浸透地下埋管:0.66m ³ /h/m		
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	11,543	13,064	20,040	12,644	20,040			
	(内)委託費	⑦ 千円								
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	0.22	0.20	0.20	0.16	0.17	17年度までの累計実績 浸透桧2,060箇所 浸透管1,199m		
	人件費	⑨ 千円	1,979	1,820	1,812	1,450	1,540			
	非常勤職員分	⑩ 千円	0	0	0	0	0			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	13,522	14,884	21,852	14,094	21,580			18年度予定 浸透桧130箇所 浸透管100m
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円	1,093	943	880	704	703			
	財源	受益者負担分	⑬ 千円						19年度から 浸透桧200箇所 浸透管200m	
		国・都等からの支出金	⑭ 千円							
特定財源計⑬+⑭		⑮ 千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源⑪-⑮		⑯ 千円	13,522	14,884	21,852	14,094	21,580			
受益者負担比率⑬÷⑪	⑰ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み	内 容				規模		単位	事業費(千円)		
	浸透桧設置(委託等)				130		箇所	10,312		
	浸透地下埋設管設置(委託等)				100		m	2,332		
	その他 ()							0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	63.1
計画通りに設置数は達成しているが、路面改良工事と併せて施工しているため工事設計におけるコスト縮減工法等により節減されている。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	総合治水対策の一環であり、又自然環境を守るためにも不可欠な事業のため、道路の改修工事に併せてできるだけ設置している。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	他の治水対策として環状七号線の地下調節地や、和田弥生下水幹線などの整備も進んでいるが、水害の発生する地域はいまだにある。総合治水の一環として、雨水の河川への流出を抑制する必要がある。また地下水の涵養や緑勢の回復にも役立っている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	昨年9月の集中豪雨による水害を受けて、水害対策の要望が急増している。総合治水の一環としての当事業の必要性が高まっている。				
	今後の予測	総合治水の一環として、雨水流出対策(浸透施設設置)を時間当たり10mmを目標として積極的に推進する。また雨水循環による自然環境保全に効果があるため、事業を進めて行く必要がある。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 雨水の下水道管への流入量を浸透施設の設置により減らせる。地下水の涵養や緑勢の回復など環境保全に役立つ。				
	(2) ①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) ②成果向上のための方策	理由または具体的内容: 道路の路面改良事業と併せて執行し成果をあげている。しかし更に成果を向上させるには事業費の拡大が必要となる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区が管理する道路で行うため、受益者負担は、できない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 工事設計におけるコスト縮減工法等により、最小の経費で浸透施設を設置している。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題: 企業に対する工事請負も広い意味での協働と解釈する。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					
今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減			
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 総合治水の一環の事業であり、浸透枵・地下埋管などの施設を道路の路面改良事業と併せて設置することで、経費の削減と効率化が図れる。また、地下水の涵養や緑勢の回復にも役立つ。 今後は増加する集中豪雨に対処するため、雨水流出抑制対策の目標値を上げる必要があり、浸透施設の拡大を図りたい。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	昨年9月の集中豪雨による水害を受けて、水害対策の要望が急増し、当事業の必要性が高まっている。今後も予想される集中豪雨に対処するため、雨水流出抑制対策の目標値を上げる必要があり、浸透枵200箇所/年、浸透地下埋設管200m/年に拡大したい。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		水防応急対策				整理番号	579		枝番号			
担当部課名		都市整備部建設課		コード	221001		連絡先電話番号	3422		昨年度整理番号	566	
係名				計画調整係				上位施策名		No		
予算事業名				水防対策		コード	59500		水害対策の推進		10	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 水防法第3条(市町村の水防責任)					
	区域全体(水害発生の恐れのある区域)の区民の生命及び財産						(2) 東京都水防条例					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				土のう手配及びポンプ排水などの水防活動		(3) 杉並区地域防災計画					
活動指標名(式)				(1) 緊急水防作業委託回数 (2) 水防対策回数		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 迅速かつ的確な水防活動を行うことにより、浸水の未然防止を図り、被害を最小限にする。						
成果指標名(式)				(1) 緊急水防作業委託回数 (2) 水防対策回数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 土のう積み回数 (2) ポンプ排水回数						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		1	2		4						
	活動指標(2)		4	3		6						
	成果指標(1)		532	5,318		15,336						
	成果指標(2)		0	8		118						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	585	4,371	5,032	33,874	33,938	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 水害発生時の対策であり、計画・目標値ともに設定できない。コストについても水害規模により異なる。			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円	49	3,842	4,500	12,765	16,000				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.43	0.34	0.30	0.29	0.45				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,867	3,094	2,718	2,627				4,077
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 + +		千円	4,452	7,465	7,750	36,501	38,015				
	単位あたりコスト(-)÷		円	4,452,000	3,732,500		9,125,250					
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	4,452	7,465	7,750	36,501	38,015					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)				
		緊急水防作業委託						12,765				
		維持管理経費						4,309				
		洪水ハザードマップ						16,800				
		その他 ()						0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%		活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	673.2
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		自分の生命は財産は自分で守るという意識を高めるため、広報紙により啓発を行っている。土のう積み、ポンプ排水作業等の要望に迅速に対応するため、緊急水防作業委託を増額した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	被害件数 S60 300件 元年 453件 H5 284件 H11 180件 H12 3件 H13 47件 H14 7件 H15 39件 H16 54件 H17 1898件					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	都市型水害時、土のう手配、ポンプの設置等の対応を迅速に行ってほしいとの要望がある。					
	今後の予測	現在工事中の環状7号線地下調節池(第二期事業)及び和田弥生下水道幹線が完成すれば、環七から下流の水害は軽減される。他の地域については河川改修等を進めているが、年数を費やすため早期の危険度はあまり変わらない。下水道の設計計画量を上回る、短時間の集中豪雨による被害が予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 近年、集中豪雨による地下浸水などの被害が多くなっており、土のう積み・ポンプ排水による被害の軽減が必要となっている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 概に経費の削減をしてきており、これ以上は難しい。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益者負担の考え方はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 概に経費の削減をしてきており、これは以上の難しい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題: 土のう積み、ポンプ排水等の作業委託					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 集中豪雨時には、土のう要請が区に一斉集中するため、水防配備態勢の限られた人数だけでは、迅速な対応は難しい。このため区民が自衛できるように、土のうなどを事前に各家庭に貸し出しのお知らせを広報に掲載する。また、杉並区洪水ハザードマップの窓口閲覧、公式ホームページへの掲載により、区民の防災意識の高揚を図る。また、地下施設を有する建物を建築する場合には、浸水や内水に強い建物計画をお願いする。
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 各家庭での土のう積みや保管を容易にするため、貸し出し土のうを小型化する。
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし (2) 理由 建設局や下水道局と、被害の情報を検討し、協働して被害の発生を防ぐ。下水道局と共同して、被害の発生しそうな家屋に対して防災意識の高揚を図る。概に経費の削減を行っており、これ以上の削減は難しい。

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		水防訓練			整理番号	580		枝番号			
担当部課名		都市整備部建設課		コード	221001		連絡先電話番号	3422		昨年度整理番号	567
係名				計画調整係				上位施策名		No	
予算事業名				水防対策		コード	59500		水害対策の推進		10
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 水防法第3条(市町村の水防責任)					
	水防管理団体(区)と消防関係機関等					(2) 東京都水防条例					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			区と消防署、消防団、防災市民組織等及び住民と合同で水防演習を実施する。		(3) 杉並区地域防災計画					
活動目標名(式)			(1) 合同水防演習実施回数		(2)		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)				
成果指標名(式)			(1) 参加人数総数		(2)		消防関係機関等と合同で水防演習を行うことにより、水防技術の習得、研鑽及び水防意識等の高揚を図る。				
成果指標名(式)			(1) 参加人数総数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				

区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標(1)		1	1	1	1			
	活動指標(2)								
	成果指標(1)		377	380	295	295	460		
	成果指標(2)		0	0					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,115	1,107	1,136	1,108	1,136	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等	千円							
	(内)委託費	千円	630	630	650	630	650		
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.06	0.07	0.06	0.06	0.09		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	540	637	544	544		815
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +	千円	1,655	1,744	1,680	1,652	1,951		
	単位あたりコスト(-)÷	円	1,655,000	1,744,000	1,680,000	1,652,000	1,951,000		
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	1,655	1,744	1,680	1,652	1,951		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

17年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	土のう搬出委託				630
	水防訓練事務費				478
	その他	()			0

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	97.5
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	演習参加職員をローテーション化し、多くの職員が必ず参加出来るようにしている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	地下室を備えた住宅や集合住宅が増え、集中豪雨による地下浸水の被害が増加している。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	水防演習に対する要望・苦情等はない。				
	今後の予測	現在工事中の環状7号線地下調節池(第二期事業)及び和田弥生下水道幹線が完成すれば、環七から下流の水害は軽減される。他の地域については河川改修等を進めているが、年数を費やすため早期の危険度はあまり変わらない。下水道の設計計画量を上回る、短時間の集中豪雨による被害が予想される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 水害時に区だけでの活動には限界があるため、合同で水防演習を行い、消防機関等との連携や水防体制の強化、また、住民の自衛力を高める必要がある。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 概に経費の削減をしてきており、これは以上は難しい。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益者負担の考え方はない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 概に経費の削減をしてきており、これは以上の難しい。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 原状を継続する。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 演習参加者をローテーション化することにより、水防活動に対する職員の意識と技術の高揚を図る。一般住民の参加を呼びかける。					
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 演習内容についてはよく検討し、消防関係機関等と協議・調整していく。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	概に経費の削減を行っており、これ以上の削減は難しい。演習内容の工法をよく検討し、最近の様々な被害に対応していく。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		水防情報システム維持管理				整理番号	581		枝番号		
担当部課名		都市整備部建設課		コード	221001	連絡先電話番号	3422		昨年度整理番号	568	
係名 計画調整係					上位施策名				No		
予算事業名 水防対策					コード	59500		水害対策の推進			10
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				40 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 水防法第3条(市町村の水防責任)						
	区域全体(水害発生の恐れのある区域)の区民の生命及び財産				(2) 東京都水防条例						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				(3) 杉並区地域防災計画						
雨量・水位の観測装置等の計画的改修及び維持管理。防災、気象情報の収集。				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 保守点検回数				(1) 雨量・水位の観測装置及び気象情報を活用した水防態勢の回数							
(2) 防災気象情報の収集日数				(2)							
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)		2	2	2	2	2				
	活動指標(2)		366	365	365	365	365				
	成果指標(1)		4	3		6					
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	7,790	7,723	136,921	130,626	33,448	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 国・都等からの支出金は、全額、災害対策基金繰入金。			
	(内)投資的経費等	千円			132,721	122,867					
	(内)委託費	千円	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200				
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.56	0.61	0.54	0.54	0.81				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,037	5,551	4,892	4,892		7,339		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0		
	総事業費 + +	千円	12,827	13,274	141,813	135,518	40,787				
	単位あたりコスト(-)÷	円	6,413,500	6,637,000	4,546,000	6,325,500	20,393,500				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円				122,867				
特定財源計 +		千円	0	0	0	122,867	0				
差引:一般財源 -		千円	12,827	13,274	141,813	12,651	40,787				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)			
	水防情報システム改修							122,867			
	保守点検等委託							4,200			
	電話回線使用料等維持管理経費							3,314			
	電気料							245			
	その他 ()							0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

581

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	95.4
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		水防情報システム全体の改修と、新設箇所の設置を行う。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	近年、集中豪雨による被害が多く、河川沿いの地域外でも出るようになった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特にない。					
	今後の予測	現在工事中の環状7号線地下調節池(第二期事業)及び和田弥下水道幹線が完成すれば、環七から下流の水害は軽減される。他の地域については河川改修等を進めているが、年数を費やすため早期の危険度はあまり変わらない。下水道の設計計画量を上回る、短時間の集中豪雨による被害が予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 被害軽減のための迅速な水防活動を行うためには、正確な雨量・水位の観測地、精度の高い気象情報が必要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 概に経費の削減をしてきており、これ以上は難しい。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益者負担の考え方はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 概に経費の削減をしてきており、これは以上の難しい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題: 現状を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 18年度内に水防情報システム全体を改修することで、更なる維持管理経費の削減とシステムの効率的な運用を図る。
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし (2) 理由 18年度内に水防情報システムの改修が完了するため、保守点検等の維持管理経費だけとなる。

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		雨水浸透施設設置工事への助成				整理番号	582		枝番号							
担当部課名		都市整備部建設課		コード	221001		連絡先電話番号	3422		昨年度整理番号	569					
係名				計画調整係				上位施策名		No						
予算事業名				雨水流出抑制対策工事助成		コード	59500		水害対策の推進		10					
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		6年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等									
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区雨水流出抑制対策推進要綱(昭和58年6月) (2) 杉並区雨水流出抑制施設設置指導要綱(平成6年3月) (3) 杉並区雨水浸透施設設置助成金交付要綱(平成6年3月)									
	敷地面積が1,000㎡未満で個人所有の住宅															
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)											
総合治水対策・雨水循環による自然環境保全に効果的な雨水流出抑制対策の推進を図るため、雨水浸透柵等の設置者に対して40万円を限度に工事費の一部を助成する。				①浸水被害を軽減する。 ②地下水と湧水の涵養と緑勢の回復												
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標												
(1) 助成件数				(1) 雨水の1時間当りの浸透量(m ³) (単年度)												
(2) 助成金額				(2) 雨水の1時間当りの浸透量(m ³) (平成6年度からの累計)												
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度計画		17年度実績		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		36		30		50		35		100		100	35.0		
	活動指標(2)		12,032		10,431		18,000		11,743		36,000		36,000	32.6		
	成果指標(1)		306		257		350		309		550		550	56.2		
	成果指標(2)		3,371		3,628		3,978		3,937		4,487		6,687	58.9		
総事業費・コスト把握	事業費		千円		124,443		10,870		18,679		12,265		36,551		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等		千円													
	(内)委託費		千円													
	職員数(常勤 非常勤)		人		0.90 1.00		0.90 1.00		0.90 1.00		0.90 1.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円		8,095		8,190		8,154		8,154		8,154		
		非常勤職員分		千円		2,759		2,880		2,890		2,890		0		
	総事業費 + +		千円		135,297		21,940		29,723		23,309		44,705			
	単位あたりコスト(-)÷		円		3,758,250		731,333		594,460		665,971		447,050			
	財源	受益者負担分		千円												
		国・都等からの支出金		千円												
特定財源計 +		千円		0		0		0		0		0				
差引:一般財源 -		千円		135,297		21,940		29,723		23,309		44,705				
受益者負担比率 ÷		%		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
17年度の主な取組み		内 容						規模		単位	事業費(千円)					
		雨水流出抑制対策工事助成									11,743					
		雨水流出抑制対策印刷費									514					
		通信運搬費									8					
		その他 ()									0					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	70.0	活動指標(2)の17年度達成率%	65.2	17年度予算執行率%	65.7
		伸び悩む経済状況の中、費用負担の発生する浸透施設の設置は、雨水対策の必要性を理解しつつも消極的になってしまう。また、設置した効果を自ら得ることが難しいことも原因の一つと考えられる。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区の雨水流出抑制目標対策量、472,200m ³ (神田川・目黒川水系) 杉並区雨水流出対策推進要綱並びに抑制施設設置指導要綱による達成数量 168,219m ³ 雨水浸透施設設置工事助成による達成数量3,628m ³ (上記達成数量に含まれる)					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	助成金の増額をしてほしい。					
	今後の予測	近年、気象の変化等により日本各地で大雨による浸水被害が発生している。都市部においても、ヒートアイランド化等により集中豪雨が頻発に発生しており、浸水被害が発生する危険性が増大している。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 雨水の下水管への流入量を浸透施設の設置によって減らすことにより、浸水被害を軽減する。また、地下水の涵養や緑勢の回復に役立つ。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 本事業の目標である区内全体の対策数量を変更することなく、この建築計画に適応した対策の推進を図ることにより、対象者の協力が得やすくなる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 本事業の受益者は助成対象者だけでなく、主に水害の恐れがある区民の不特定多数である。また、助成金受領者は浸透施設設置工事費の超過分を負担している。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 40万円を上限として標準工事費の約8割を助成しているが、施工は実費との差額を自己負担しているため、コストを下げる余地はない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題: 水害の軽減や自然環境の保全など、区民の安全と生活環境の向上は行政の責務であるが、企業・個人事業者の協力がなくては到底なし得ない。そこで、現在進めている助成制度を今後も活用しながら雨水流出抑制対策の推進に努めるものである。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在、進めている雨水流出の抑制対策は、浸透施設(浸透柵・浸透トレンチ)を主体に助成制度を活用しながら推進を図っている。その中で区民の方々は、抑制対策について一定の理解を示すが、いざ自分の敷地への設置となると費用対効果が見えにくいため消極的になってしまう。そこで、設置費用負担の軽減化や雨水対策を身近なものと感じられる雨水の再利用方法などの研究・導入を目指し、区民の雨水対策への理解と協力をより一層深める。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 雨水の再利用で考えられる一つとして、貯留タンクが挙げられる。貯留タンクは、貯められた雨水を散水等に使用でき環境面での効果もある。しかし、浸水被害の軽減効果を考えると、タンク内を常時空の状態にすることが望ましく、貯留タンクが不向きな面もある。そのなかで、雨水対策の効果を挙げるには、浸透・貯留施設の併用が望まれるが設置者の自己負担額の増大が予想される。克服方法として、助成金の増額が最も効果的であるが、浸透・貯留施設の技術的な検証及び市場の動向を調査する。	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	民間施設における雨水流出抑制対策を推進していくためには、区民及び事業者の雨水対策についての理解と協力が重要である。そのためには、雨水流出抑制対策の必要性について、積極的にPRを行うことである。そこで、従来から行われているPR方法を検証し、必要に応じ新たな工夫を行い積極的な呼びかけを行う。

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		雨水流出抑制対策(私道)				整理番号	608		枝番号		
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222701	連絡先電話番号	4633		昨年度整理番号	596	
係名 私道整備担当係長					上位施策名			No			
予算事業名 私道整備助成					コード	57850		水害対策の推進			10
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				2年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 水害の恐れのある地域の住民				(1) 杉並区私道の整備に関する条例 (2) 杉並区私道の整備に関する条例施行規則 (3) 杉並区雨水流出抑制対策推進要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 交通量の少ない私道の舗装を透水性にすること。また、透水性舗装をして数年が経過し、透水能力の落ちた舗装に対して洗浄を行い透水能力の回復を図る。(平成16年度まで。)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 雨水の浸透量を増やし、下水道への雨水流入を減らすことで河川の増水を抑制し、台風や集中豪雨時の水害を防止する。						
	活動指標名(式) (1) 透水性舗装工事面積 (2) 透水性舗装洗浄面積				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 雨水の地下への浸透量(施工による量) (2) 雨水の地下への浸透量(洗浄による量)						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		m ²	1,574	771	2,000	1,613	2,000			
	活動指標(2)		m ²	1,591	1,492	0	0	0			
	成果指標(1)		m ² /h	47	23	60	48	60			
	成果指標(2)		m ² /h	48	45	0	0	0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,548	10,878	22,740	24,706	22,740	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 申請主義のため目標値は定めない。		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	12,548	10,878	22,740	24,706	22,740			
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.25	0.50	0.50	0.50	0.50			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	11,243	4,550	4,530	4,530	4,530		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	23,791	15,428	27,270	29,236	27,270			
	単位あたりコスト(-)÷		円	15,115	20,010	13,635	18,125	13,635			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	23,791	15,428	27,270	29,236	27,270				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)		
			透水性舗装工事(委託等)				1,613	m ²	24,706		
			その他 ()						0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	80.7	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	108.6
		透水性舗装工事の希望箇所が少なく計画量に満たなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		透水性舗装工事施工面積の増加を図り、17年度の施工面積は16年度の2倍に達した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初、わずかであった透水性舗装の道路も年々増加してきている。近年、都市型水害は河川付近だけではなく区内の低地部にも被害をもたらしているため、事業に対する期待は大きい。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	雨水を地中に戻すことによる水害防止や地下水保護の意義の理解は進んでいるが、耐久性の面で通常の舗装に比べ劣るため、希望するところが少なくなっている。					
	今後の予測	区内の不浸透面積は都市化により、ますます拡大されていくと思われる。そのために、透水性舗装の重要性が増していくと考えられる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 都市型水害の防止のためには有効であるが、その成果が目に見えて現れにくい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 単価等の共通化を土木部門全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 所有者が特定されているので見直し余地はあると考える。ただし、第3次行財政改革実施プランの策定の際、現状維持の方針が出されている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 区の工事を、申請者の工事実施に移行する助成制度に改め、省力化を図ることで人件費の削減を行う余地がある。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 区が助成申請を受け、工事等は民間事業者が行なう。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在の受託方式を助成金方式に変更し、総合的に事務量の削減を図る事務改善を行うことにより、職員削減に対応していく。整備率95%に対応したより具体的な私道整備のあり方を検討し、基準を定め、実施していく。透水性舗装洗浄委託は、平成16年度をもって、当面休止としている。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 制度の変更には、客観的な基準や、資料づくり、また、私道整備担当の事務量の増加など、実践力のある組織体制づくりが先決である。						
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし						
	(2) 理由 予算的には、大きな変化はないと考える。						